

第7回北谷町地域公共交通会議(H30.3.12) 議事要旨

【会議の概要及びその後の経過(朱書き)】

- 北谷町コミュニティバス利用状況等の検証・分析結果について
 - ・高齢者・障害者の利用の多い時間帯はいつか。
⇒把握していない。※日によってばらつきはあるが、週初めの月曜日は第2便から第6便にかけて、高齢者・障害者の人数が多い傾向にある。
 - ・収支率の見通しについて
⇒現状(H30.2月末まで)で約7%程度である。一番良い月でH29.8の8.2%であった。
 - ・収支率について再度検討を行うとは。
⇒実証運行を開始するにあたり、他市町村の事例や補助金の活用などを勘案した結果、収支率の目標を40%に上方修正した経緯があるが、達成の見込みが立たないことから当初目標としていた25%に戻すこととした。この件は、内閣府にも伝えてある。
- H30ルートの運行計画(案)について
 - ・H29計画と変わらない点はなにか。
⇒運行形態(定時定路線型)、運行台数、運賃については変更しない。
 - ・新コースと旧コースの運行距離と運行時間の差、そしてバス停の改廃について
⇒新旧ともに北コース、南コースでは概ね22kmで、両コースとも約80分で運行しています。バス停の改廃につきましては、上樋川は廃止。また、南コースの北玉小学校前を通過していくルートを交通安全上の観点から削除し北玉公園前の町道上に移設。それに伴い、県道24号を迂回するルートに変更。また、国体道路に迂回するためのルートで、役場近くの伊礼原公園前、第二伊平、北谷高校前を追加。※H30コースは実際には、北コース約25km、南コース約27kmで3km~5km程度の距離の増加。また、運行時間は北コース96分、南コース104分と、距離の伸びに応じて運行時間も増加した。
 - ・H30コースも特にH29と変わらないようにみえるが、距離を短くして運行分数を増やすという考えはないのか。
⇒今回のルート見直しでは運行時間が伸び、利便性が低下すると考えている。ただ、各バス停の乗降者数の状況を見て削除していくことは考えられるが、現時点で次年度の運行から変更することは考えていない。今後の収支率等を考えながらバス停の削除は検討しなければならないと考えている。

・現状(H29)から平日・休日ともに一便減り、朝の時間を遅くしているが、第 6 便が現状の第 7 便より遅くなっている。現状でも最終便は利用率が低い、ターゲットは誰か。高齢者の利用を考えれば、この時間は関係ないのでは。西海岸の観光客がターゲットなのか。

⇒最終便の利用率は低い、一便でも確保した方が良く考え設定。ターゲットを明確に決めたわけではない。北谷高校前を通している、部活動の時間にも合うと考えている。観光客等の移動ニーズに合えば使っていただけるのではないかと考える。

・産業まつり等のときに使える C-BUS の体験チケットを配ることをやってはどうか。また、中学生の運賃が 200 円は高くないか。美浜に行く子供達が多くいますが、中学生にとって 200 円は高く感じると思う。

⇒中学生運賃に関しては、路線バスの料金が大人料金となっているので 200 円で設定。イベントに合わせて町が負担する利用促進等について検討したい。また、そのような運用が法令的に可能なのかなども調査する。※地域公共交通会議で同意が得られれば、無料実施日を設けることも可能である。ただ、本実証運行は一括交付金を活用して運行している関係上、受益者負担の原則からも慎重に検討する必要がある。

● 今後のスケジュールについて

・認可が下りていない状況で広報を行うのであれば、スケジュールには十分留意していただきたい。

● その他

・路線変更についての周知活動はしっかりとやっていただきたい。